

社会で求められること

都内感染者数は若干の減少が見られますが、10代以下の感染は1か月前と比べると5.5倍（3万人超）に急増し、新型コロナウイルスの感染が衰えていません。また、関東の新規感染者の9割はデルタ株が占めると推定されるとの報道があります。

このデルタ株は、体内の細胞にくっつく力が従来株と比べ2倍程度高く、その特徴として、「少量で感染する」「急激に人の体内で増殖する」「感染者から大量に放出される」危険性があります。この危険性をしっかりと理解した上で、「慣れ」が見え始めている感染予防対策を、緊張感のギアを1段2段上げて一人一人がさらに徹底して取り組まなければなりません。

- 効果の高い不織布マスクを隙間なく着用
- 毎日の健康チェック（検温等）
- 今まで以上にこまめな換気
- 人との距離の確保（不要不急の外出の自粛）
- 手洗いや手指の消毒
- 飲食時は短時間で黙食 などの徹底



このことを踏まえて、明日からの学校の予定について確認をします。

- 2日（木）及び6日（月）以降は、時差（9時30分）登校、短縮授業（5時間）となりますので、昼食を持参し、一人一人が感染予防の徹底に取り組むこと。
- 3日（金）は、9時30分登校の短縮4時間、その後15分程度の黙食後、3年生以外は下校。なお、部活動については6日まで原則禁止
- 定時制については、10日まで通常時間帯で2時間目までとなります。

緊急事態宣言中なので授業どころではないとの考えもありますが、荒川工業高校は皆さんが社会に出るための準備をする学校です。社会の中で求められる感染対策をしっかりと実践できる人材に育て上げることも荒川工業高校の使命です。皆さんにとっては、うるさいと感じることも、繰り返し伝えていきます。それは、皆さんの未来を守ることにつながることと信じています。自分と大切な人の日常を守るために必要な行動を徹底しましょう。

ぶらり、あらこう散歩

【全日】夏休み中、電気科の10名の生徒がイノビルテック株式会社を訪問してきました。実際の企業の電気設備を見て学ぶことで、就業意識や職業意識を高めることを目的として実施しました。電気科の田中先生からは「企業から学ぶことは多く、BCP（事業継続計画）対応の必要性を実感することができた。また、社員の方からの話を聞き、自分たちが取り組んでいる電気工事士の資格取得の重要性を再認識することができた。」とのお話がありました。やはり、工業は実社会で活躍する技ですね。よりよい社会にするための課題解決の方策を、ものづくりの力で実現する。その一歩が「電気工事士」などの資格取得です。チャレンジすることを恐れずに、逃げずに、自分から掴みにいけば必ず成長します。頑張れ！そのために先生方も頑張る！



【定時】電気工事士の資格取得に向けた準備は、定時制課程でも進められています。この間も夜間時間に学校に集まり問題集に向かう姿には団体戦の雰囲気を感じています。自分の頑張りが友達の頑張りにつながる。友達の頑張りが自分の頑張りの励みになる。決して弱音を吐かずに、一心不乱に取り組む生徒を温かく見守り支援する松本先生に感謝です。定時制の皆さん！よき仲間、よき指導者に囲まれた学びを信じて頑張ってください。

自分でつかみ取れ！荒工生！

「未来を創る！彩る！荒川工業」